

訓練受講で  
つながる就職！

# 求職者支援制度 活用事例集



制度の詳細はハローワークへ!!

一定の要件を満たし、ハローワークが必要と認めた方が訓練を受講することができます。

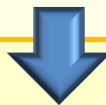
厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

# 活用事例－１（ＩＴ管理者養成科）

男性：３０歳代後半（単身） 希望職種：事務職  
直近の雇用形態：アルバイト７年（接客）  
※その他、技術職を４年経験

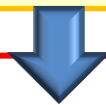
## ① 抱える課題

- ・ 経験のある技術職は体力的にきついの理由で本人が希望しないため、未経験職種への応募を希望。
- ・ 方向性を絞り込んだ結果、事務職を希望するも、経験もＰＣスキルもなく、再就職が難しい状況。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 訓練受講によりＰＣスキルを身につけることが再就職に有効であると判断し、求職者支援訓練の**実践コース（ＩＴ管理者養成科：訓練期間５か月）**を受講あっせん。訓練受講中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- ・ 訓練終了後の就職支援を**個別担当者制**として、担当者による一貫した支援を実施。
- ・ これまでの不規則な生活習慣を改善するため、午前中の時間を設定し、ハローワークへの来所（時間厳守）を促す。
- ・ ＰＣのスキルについて、高いレベルでの目標設定を促した結果、訓練終了後にＭＯＳ検定Ｗ／Ｅ、弥生会計（ＰＣ会計）エクセルエキスパートの資格を取得。
- ・ やみくもに応募して不採用が重ることで意欲が低下しないよう、担当者から効率的な応募を提案し、応募先ごとの応募書類の添削・求人情報提供・面接の受け方等のきめ細やかなアドバイスをを行い、求人の選定・絞り込みを行った上で紹介。
- ・ **計画的に応募できた（不採用の数を最小限におさえられた）**ことで、早期就職に繋がった。



## ③ 結果

- ・ 医療・介護向け専用システムのオペレーション業務の正社員として採用（月収２０万円）

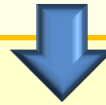
※支援期間６カ月

# 活用事例－２（経理事務実践科）

女性：20歳代後半（両親と同居）希望職種：医療事務→経理事務  
直近の雇用形態：市の臨時職員6か月  
※離職後5年程度経過

## ① 抱える課題

- ・医療事務職を希望するものの、自己分析や労働市場、業務上求められる能力についての理解が不十分。
- ・職歴が市役所の臨時職員6か月しかなく、社会人経験が乏しい上に、離職後5年が経過しており、ブランクも長く、そのため就職に対する自信がない状態。
- ・社会人・職業人としての心構えやビジネスマナーを身につけることも課題。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・**ジョブ・カード作成**によるキャリアコンサルティングを通じ、自己の持ち味や短大までの経験で身に付けた能力等について棚卸しを行った。その結果、当初、医療事務を希望していたものの経理事務など専門的な仕事をしたいとの意識に変わり、希望職種を経理事務に変更。
- ・経理事務関係で応募可能な求人を増やすため、簿記2級の資格が取得可能な、求職者支援訓練の**実践コース（経理事務実践科：訓練期間4か月）**を受講あっせん。
- ・訓練開始と同時に就職活動の基本についてのセミナー等の受講を促し、訓練終了1か月前から、応募書類の添削指導を行い、訓練終了後には求人情報を提供し意見交換を繰り返しながら応募先選定を一緒に行った。
- ・応募に消極的な面がみられたため、結果を考えずまずは積極的な応募ができるよう**精神面の支援**も繰り返し実施。
- ・少しでも採用の可能性を広げるため**トライアル雇用併用求人**に紹介し、書類選考を通過した後、模擬面接を集中的に実施した結果採用となった。



## ③ 結果

- ・社労士事務所に経理事務も含む事務職のトライアル雇用（トライアル期間経過後に正社員に移行）

として採用（月収18万円）※支援期間5か月

# 活用事例ー3（経理事務科）

女性：40歳代前半（夫と子ども3人） 希望職種：経理事務（正社員）  
直近の雇用形態：パート8年（営業事務）  
※出産・育児のため約10年間のブランク。

## ① 抱える課題

- 事務職の経験はあるものの、10年間のブランクがある。
- 子ども（3人）も小さく、学校行事にも参加しなければならないため、就業条件に制約がある。
- 簿記3級の資格しかなく、この資格だけで応募できる経理事務の求人はほとんどない。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- 応募可能な求人を増やすため、簿記2級の資格が取得できる、求職者支援訓練の**実践コース（実践パソコン経理事務科：訓練期間5か月）**の受講をあっせん。
- 面接時に極度の緊張が見られることから、面接指導や面接後の振り返り等の面接対策を重点的に実施。
- 10年間のブランクに対する不安を払拭するため、**職務経歴の棚卸しのほか、その間のPTAや地域活動の状況も聴取し、これらもアピールポイントとして使うよう提案。**
- 5社応募するも不採用。その後も粘り強くキャリアコンサルティングを続けるとともに、対象者を **個別求人開拓対象者**に選定し、ハローワークの**求人開拓推進員**が、本人の希望条件に合う求人を開拓。最終的にハローワークで開拓した求人に紹介し採用となった。



## ③ 結果

- 園芸用品の製造販売を行う会社に経理事務の正社員として採用（月収16万円）

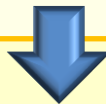
※支援期間5カ月

# 活用事例－４（医療事務科）

女性：30歳代前半（母子世帯） 希望職種：医療事務  
直近の雇用形態：学習塾講師3年（非常勤・雇用保険加入とならない短時間）  
※その他短期の派遣やパートを繰り返す。

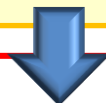
## ① 抱える課題

- ・過去に派遣社員として事務職の経験があるが、希望職種である医療事務の資格や経験は無い。
- ・雇用保険加入とならない短時間の勤務であったため、失業保険が受け取れず、経済的な面でも求職活動をすることに不安。
- ・母子家庭であり、就業条件に制約。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・安定して働ける正社員を希望し、自ら専門的な知識や資格を習得しての就職を考えていたが、経済的な理由で自己での資格取得が難しかったため、本制度の職業訓練受講給付金制度を利用しながら就職を目指すことを提案。
- ・希望職種に必要な資格取得を目指し、求職者支援訓練の**実践コース（医療事務科：訓練期間3か月）**を受講あっせん。訓練期間中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- ・訓練受講中は、希望する職種の就業条件等の確認等により、訓練終了後、早期に就職できるよう意識付けを行なう。訓練終了間際には応募書類の作成方法のアドバイスを行うとともに、事前に選定していた医療事務の求人について、内容や条件を確認し、提供。
- ・情報提供した求人が、訓練で習得した資格と合わせてこれまでの経験を活かせる一般事務の仕事も含んでおり、残業が少ない点も希望条件に合う正社員の求人であったことから、本人と相談した結果紹介し採用された。



## ③ 結果

- ・医療施設において、医療事務の正社員として採用（月収16万円）

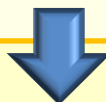
※支援期間5カ月

# 活用事例ー5（医療・調剤事務科）

女性：30歳代前半（夫と子ども2人） 希望職種：医療事務  
直近の雇用形態：パート1年6か月（事務職）  
※その他、児童英会話講師を約3年間

## ① 抱える課題

- これまで児童教育に多く関わってきたが、資格がないことや体力面・安定性から限界を感じ、職種転換を検討。
- パートでの事務経験はあるが、医療事務は未経験。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- 求職者支援訓練の**実践コース（医療・調剤事務科：訓練期間3か月）**を受講あっせん。
- 訓練終了間際から求人への応募を始めるも不採用が続く中、**個別担当者制**による支援を実施。
- 未経験である医療事務の仕事に就きたい動機を、いかに上手く説明するかがポイントであったため、経歴や医療事務に興味を持った理由を詳しく聞き取り、希望した求人につながるような内容を盛り込んだ職務経歴書となるように、一から作り直し、志望動機・自己PRについても前職との共通性（接客、コミュニケーション能力を活かせる等）を発見し、会社にアピールするようアドバイス。
- 訓練受講で医療事務に関する数種類の資格を取得したが、面接の際、医療事務への職種転換の理由を明確に答えられないことで就職に結びつかないことが続いていた。そこで、**経験のある業種は違っても、対象者自身の求めるものや貢献できることがあることを自覚してもらい**、未経験職種への志望動機について自信を持って回答できるようになるまで模擬面接等を実施。
- その結果、採用面接において、訓練で身につけたスキルのほか、自身のこれまでの経験を会社で活かしたいという熱意を伝えることができたため採用につながった。



## ③ 結果

- 病院において、医療クラークの正社員として採用（月収20万円）

※支援期間6カ月



# 活用事例－6（介護福祉科）

男性：50歳代前半（扶養家族2人） 希望職種：介護職  
直近の雇用形態：自営を10年していたが、不況により廃業  
※その他解体業等

## ① 抱える課題

- ・ 廃業による離職後、自ら求職活動をするも就職先見つからず。
- ・ 介護の仕事を漠然と希望していたが、職務経験が無く、年齢的に未経験職種への転職は厳しい状況。
- ・ 廃業後の求職活動はハローワークの利用でなく知人の紹介や求人情報誌からの応募を主体としていたため、ハローワークからの就職支援計画に基づいた求職活動を実施できるか不安。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・ **介護就職相談会への参加**を促し、介護施設の担当者から直接説明を受け、介護の仕事内容を理解してもらった上で、求職者支援訓練の**実践コース（介護福祉科：訓練期間3か月）**を受講。訓練期間中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- ・ 何度も相談する中で介護の仕事に就くことに曖昧な点を払拭し、就職意欲を高めた。
- ・ 訓練施設と**ジョブステーション（JS…県との一体的実施事業）**が近くにあり、授業終了後にJSで職業相談を積極的に行うよう指示。ハローワークの担当者もJSの担当者と連携を取りながら、双方で本人をサポート。履歴書の添削や自己PR対策など双方で身のある支援を行うことにより就職に向けた準備を進めていった。
- ・ 面接に苦手意識があったため、模擬面接を行うことにより注意項目を洗い出した上で、面接に挑んだことで採用につながった。



## ③ 結果

- ・ 特別養護老人ホームにおける介護スタッフの正社員として採用（月収20万円）

※支援期間7カ月

# 活用事例ー7 (WEBデザイナー科)

女性：20歳代後半（両親と同居） 希望職種：デザイン企画職  
直近の雇用形態：アルバイト6か月（介護助手）

## ① 抱える課題

- 大学で学んだ陶磁器やデザイン関係での就職を希望するも、WEBデザインの知識や経験が無いため採用されず。
- 職歴がアルバイトのみであり、社会人としてのスキルを身につけることも課題。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- デザイン企画職に関わる仕事での就職可能性を高めるため、イラストレーターやフォトショップ及びホームページ作成の知識と技能を習得できる求職者支援訓練の実践コース（WEBデザイナー科：訓練期間4か月）の受講をあっせん。
- 訓練受講中から本人が訓練や大学時代に学んだことを生かせる求人を随時情報提供。
- 希望の求人が少ないうえに業界での職歴がない事から不安になり、職種変更を考えることもあったが、本人の物づくりに対する姿勢や強い思いに配慮、指導した結果、前向きな姿勢を取り戻すことができ、本人の就職意欲が高まった。
- 本人の就職意欲をどうにかして応募先に伝えることができないか本人と相談した結果、訓練で制作した作品があることがわかり、それを応募先に対し積極的にアピールしたことで採用につながった。



## ③ 結果

- 和紙の企業にデザイン企画職の正社員として採用（月収20万円）

※支援期間6カ月

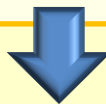


# 活用事例－８（WEBデザイナー実践科）

男性：30歳代前半（単身） 希望職種：WEBデザイナー  
直近の雇用形態：アルバイト6年（飲食店）  
※正社員での職務経験なし

## ① 抱える課題

- 大学院卒業後、アルバイトをしながら司法試験合格に向け勉強を続けていたが、受験資格がなくなったため就職せざるを得ない状況。
- 職歴がアルバイトのみであるため求職活動に不安。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- 本人との相談を重ねた結果、写真加工やWEBデザインに興味があり、関連職種での就職を希望したため、求職者支援訓練の**実践コース（WEBデザイナー科：訓練期間4か月）**の受講をあっせん。
- 職務経歴書に転職理由と今後の目標を記載することによって、未経験職種に向けて熱意を表わす工夫を行った。
- 技能の客観的評価を目的に**添付作品の作成（HP、印刷物）**を勧奨。
- **自己分析**を徹底的に行うことにより、自分の感性を表現する事が得意であることやプレゼンテーションスキル等の強みを発見し、これらを書類作成や作品作成に反映。
- 並行して**事業所研究**（事業内容、取引先や作品、仕事内容等）を行うことにより、応募先を選定する力がつき、採用後の目標も明確化されたことが面接時に役立ち、採用された。



## ③ 結果

- 広告代理店にグラフィックデザイナーの正社員として採用

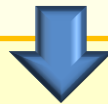
（月収25万円） ※支援期間7カ月

# 活用事例－9（インテリアCAD科）

女性：20歳代後半（単身） 希望職種：インテリアコーディネーター  
直近の雇用形態：アルバイト  
※正社員での職務経験なし

## ① 抱える課題

- ・両親がリフォーム業を営んでおり、インテリアコーディネーターに興味があるが、他業種のアルバイトの経験のみ。
- ・経済的に求職活動を続けられるか不安。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・本人の強い希望もあり、求職者支援訓練の**実践コース（インテリアCAD科：訓練期間6か月）**を受講あっせん。訓練受講中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- ・訓練は一生懸命取り組んでいたものの、個人的な事情によりモチベーションを維持するのが難しくなったことから、可能な限りHWの窓口でも話を聞き、前向きに取り組んでいけるようアドバイス。
- ・飲食店でのアルバイト経験（接客）はあるものの、敬語がうまく使えず、敬語の使い方を徹底して指導。
- ・経験がなく即戦力とならないことを理由に、書類選考で落とされることのないよう、**訓練で作成した制作作品などの見せ方の工夫**もするようアドバイスをしたことで採用につながった。



## ③ 結果

- ・建築会社にインテリアコーディネーターの正社員として採用（月収20万円）

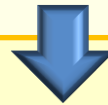
※支援期間7カ月

# 活用事例－10（電気設備管理者養成科）

男性：30歳代後半（単身） 希望職種：電気関連職種  
直近の雇用形態：アルバイト等2年（軽作業など）  
※その他正社員も含め複数の転職歴

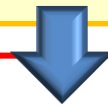
## ① 抱える課題

- ・約2年間失業状態。
- ・正社員での就職を目指し求職活動をしていたが、なかなか採用されず就職活動に対する自信を喪失。
- ・失業状態であるため、訓練を受講する上で経済的に不安。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・アルバイトでの経験が長く、本人は当初、事務職への就職を希望していたが、相談をしていく中で長期に安定して働けるとの本人の希望から、設備管理系の仕事へと興味がうつり、就職可能性などを踏まえた結果、求職者支援訓練の**実践コース（電気設備管理者養成科：6か月）**を受講あっせん。訓練受講中は**職業訓練受講給付金**及び**求職者支援資金融資**を活用。これらを活用することで、経済的な不安を払拭し、訓練受講に専念。
- ・本人のモチベーションを維持するために、当該訓練を受講すると、電気関連の資格が複数取得できることを強調。
- ・当初、電気技術者としての就職を目標としていたが、**訓練受講や受講生との関わりを通じて、自分の本当にやりたいことが「人に何かを教えたり人前で話をしたりする仕事＝講師職」であることに気づき**、電気技術関係の講師職を第一希望として求職活動。
- ・毎回の指定来所日においては、求職活動に関する情報収集の仕方等のアドバイスを行い、訓練終了2か月前頃から具体的な求人情報の提供を積極的に実施したことで、早期就職につながった。



## ③ 結果

- ・電気通信事業の会社に講師・営業の正社員として採用（月収24万円）

※支援期間7カ月

# 活用事例ー11 (OA・デザイン基礎科)

男性：20歳代前半（単身）希望職種：デザイナー、イラストレーターオペレーター  
直近の雇用形態：アルバイト3か月  
※専門学校を中退

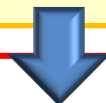
## ① 抱える課題

- ・デザイン系専門学校に通っていたが、家庭の事情により中退。
- ・希望する仕事をパソコン関係で求職登録しているが、デザイン系の職種に未練。
- ・求職登録後、訓練を受講するかどうかの検討を重ねており、訓練か就職かを選べず、応募にまで結びつかない状況。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・デザイン系の職種への就職を諦めることができないとのことから、中途半端になっていたデザインのスキルを身に付けるため、基礎コースでデザイン科目が含まれるものを選択し求職者支援訓練の**基礎コース（OA・デザイン基礎科：訓練期間5か月）**を受講あっせん。訓練期間中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- ・訓練期間中は、求人情報の検索を促し、関連職種の求人へ理解が深まる。訓練修了後、**個別担当者制**による支援を開始。
- ・支援開始前からDTPデザイン・オペレーター等の求人への応募を重ねていたが、デザイン力では経験者に敵わないため、**デザイン・創造性ではなく、本人の真面目な性格を活かせるソフトのオペレーション等のこつこつと目標を達成していく職種など、デザイン以外の職種でも検討するよう提案。**
- ・その後、**求人開拓推進員**が開拓した、電気工事事務所での一般事務、できればイラストレーターができる人材を求める求人を紹介し、採用された。



## ③ 結果

- ・電気工事事務所にオペレーター兼事務員の正社員として採用（月収18万円）

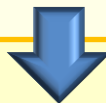
※支援期間8カ月

# 活用事例ー12（オフィスビジネス基礎科）

男性：30歳代後半（単身） 希望職種：特になし  
直近の雇用形態：アルバイト  
※これ以外の職務経験なし

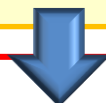
## ① 抱える課題

- 正社員経験がなく就労経験も乏しいため、求職活動に不安。
- 自己理解のための自己分析（長所・短所・PR点等）が不十分。
- 求職活動の現実に対する認識不足、具体的な活動方法について知識不足。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- 基礎的なPCのスキルを身につけることで就職可能性を高めるために、求職者支援訓練の**基礎コース（オフィスビジネス基礎科：訓練期間3か月）**を受講あっせん。
- 訓練修了前から、指定来所日以外に**担当者制による個別面談**を実施。個別面談では、希望職種が定まらない、希望給与が非現実的である、応募書類にマイナスの言葉が多用されている等の問題点が発覚。労働条件を含む職業情報の提供や応募書類について添削を実施。また、自己理解のための自己分析を行い、自身の強み・弱み・アピールポイントなど**気づきを促す支援**を実施。
- 自己理解が進み希望職種がかなり絞り込まれてからは、積極的に求人応募を開始。ハローワークからPCインストラクター求人3件を紹介し、応募先に合わせた応募書類の添削等を行ったことで採用につながった。



## ③ 結果

- 大手スーパー内のパソコン教室にパソコンインストラクターの正社員として採用。

将来は室長候補（月収18万円）※支援期間8カ月

# 活用事例ー13 (ビジネスパソコン基礎科)

女性：20歳代前半（単身） 希望職種：事務職  
直近の雇用形態：アルバイト1年（飲食業）  
※それ以前も短期間のアルバイト等

## ① 抱える課題

- ・ 漠然と事務職（フルタイム）を希望、具体性に欠け、職業理解が不足。
- ・ 希望職種の経験が無く、PCスキルも入力ができる程度で、経験・知識共に不足。
- ・ 本格的な求職活動は初めてに近く、応募書類作成等の支援が不可欠。
- ・ 求職活動について経済的な不安。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 求人情報検索を勧め、PCスキル・経験不足を再認識した結果、本人が簿記スキルの習得も希望したため、PCに加え簿記習得が含まれる、求職者支援訓練の基礎コース（ビジネスパソコン基礎科：訓練期間4か月）を受講あっせん。訓練期間中は職業訓練受講給付金を活用。
- ・ 職業理解を促すため、訓練中は訓練施設を通じて求人情報を受講生に提供。指定来所日（受講中）の段階から書類作成指導等を実施し、求職活動を意識させる。
- ・ 受講が進む中で、職種に拘らず習得スキルを活かした就業を希望。正社員経験が少ないことから、トライアル雇用も視野に求人情報計12件を順次提供。書類作成の点検・指導を実施。
- ・ 選考終了の都度、課題を探り、次の応募（書類作成・面接対応）に繋がるよう支援した結果、早期の就職につながった。



## ③ 結果

- ・ 小児科診療所に受付事務のトライアル雇用（トライアル期間経過後正社員に移行）として採用。

（月収13万円）※支援期間4カ月

# 活用事例－14（簿記・パソコン基礎科）

女性：47歳（母子世帯） 希望職種：事務職

直近の雇用形態：正社員

※その他、飲食店での接客サービス、食器洗浄などを経験

## ① 抱える課題

- これまで飲食店の接客サービスや食器洗浄などに従事していたため専門的な資格がない。
- 前職は正社員雇用だったにも関わらず経営不振による解雇となり、ショックと今後への不安が強い。
- 飲食店での経験が長いですが、飲食店の接客の求人では、生活費に必要な希望金額に達しない、また短時間パートなど不安定。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- これまでは子供のため、とにかく生活費を稼ぐことが中心、今後は1人でも生活でき、やりがいを持ち長く続けられる仕事として事務職を希望していたものの経験がなく、PCスキルもないためあきらめていたが、PCスキルに加え簿記も同時に習得することで、応募の幅が広がり事務職での採用可能性もあることから、相談の結果、求職者支援訓練の**基礎コース（簿記・パソコン基礎科：訓練期間5か月）**を受講あっせん。
- 訓練期間中は**職業訓練受講給付金**を活用。
- HWでは**個別担当者制**で対応し、指定来所日ごとに、課題を明確にし、丁寧に支援した結果、訓練終了の頃には履歴書・職務経歴書など応募書類の準備が完了。
- その後、定期的に求人情報を提供し、積極的な応募を促したことで採用につながった。



## ③ 結果

- 酒類・食品の卸売会社に一般事務のパートとして採用（雇用期間定め無し）

※支援期間4か月

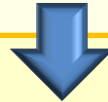


# 活用事例－15（パソコン基礎科）

男性：40歳代前半（単身） 希望職種：配送業務  
直近の雇用形態：正社員2年間  
※その他20年程度工場で正社員

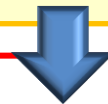
## ① 抱える課題

- 生活保護を受給中。
- 運送業務を希望するものの、就職意欲が乏しく、業務に必要なPCスキルも全くない。
- 過去に求職活動をしたものの、意欲などの問題から不採用になり、あきらめている。



## ② 支援内容・ポイント・経過

- 管内においては、運転業務、特に配送業務を伴う求人のほとんどにパソコン操作のスキルが求められることから求職者支援訓練の**基礎コース（パソコン基礎科：訓練期間4か月）**を受講あっせん。訓練期間中は**職業訓練受講給付金**を活用し、**個別担当者制**で支援。
- 過去に20年間正社員で働くことができた事実を丁寧に振り返ることで、自信とやる気を取り戻してもらい、本人とハローワークとの信頼関係を構築。
- 訓練期間中は、就職に関する意識を維持、向上させるため、少なくとも**週に1回以上、ハローワークへの来所を求め**、訓練の進捗状況の確認、及び本人の**精神面の安定を支援**。
- 求人への応募については、本人の意向を尊重し、全国大手の運送会社の配達員の求人を紹介。ハローワーク職員の中にその会社の商品のユーザーがいたことから、その職員から商品やカタログなどを入手し、**携わる仕事のシミュレーションを幾度と行い、面接に臨んだ結果採用**となった。



## ③ 結果

- 運送会社の正社員として採用（月収18万円）

※支援期間5か月